

日本技術士会北陸本部 富山県支部 設立総会・講演会・祝賀会 報告

1. はじめに

平成24年7月21日(土)に富山県民会館8会キャッスルにおいて、富山県技術士会の解散総会、「日本技術士会北陸本部富山県支部」の設立総会、第17回講演会及び富山県支部の設立祝賀会を開催した。

これらの行事には、次に示すように、多くの皆さんに参加して頂いた。ここに厚くお礼を申し上げる。

- ・解散総会 43名(委任状を含む)
- ・設立総会 57名(委任状を含む)
- ・第17回講演会 77名(講師・来賓を含む)
- ・設立祝賀会 58名(講師・来賓を含む)

以下に、これらの行事を報告する。

2. 富山県技術士会の解散総会

富山県技術士会は、平成16年6月に、富山県内における技術士の活性化、知名度向上、相互交流などを目的として、社団法人日本技術士会北陸支部の下部組織として正式に設立した。

ところが、平成21年6月には、日本技術士会の公益社団法人化に伴う経過措置として、相互協力に関する協定を結んで、北陸支部の提携組織となった。

しかし、最近の東北や関東での支部設立の流れを受けて、富山県内でも急速に支部設立の機運が高まってきた。この度、富山県支部が正式な下部組織として設立されるのを契機に、富山県技術士会は、その役目を終えて解散することとなった。

解散総会では、まず森田代表幹事から、これまでの経緯が説明された。その後、平成23年度の事業報告、決算報告などが行われ、富山県技術士会の解散が、正式に決定した。

8年間もの長い間、富山県技術士会の活動にご協力・ご参加して頂いたことに、感謝するところである。

3. 富山県支部の設立総会

富山県支部の設立総会は、富山県技術士会の解散後に行われた。まず森田支部長から、支部役員紹介が行われた。支部役員は、日本技術士会による事前投票で信任された支部幹事で、次の表に示す19名が分担して担当する。役員紹介の後、平成24年度の事業計画、予算案などが報告された。前身の富山県技術士会と同様に、年2回の講演会を開催する他、支部設立を契機として、委員会活動を活発化して、地元の大学や企業と

の連携を深める予定になっている。

今後とも、富山県技術士会と変わらぬご支援・ご協力を願うものである。

富山県支部 平成24年度役員

| 役 職 | 氏 名 |
|-----------------|--------|
| 支部長 | 森田 清三 |
| 副支部長, 事業担当 | 佐渡 正 |
| 副支部長, 事業担当 | 吉岡 茂喜 |
| 副支部長, 業務担当 | 笹倉 正司 |
| 副支部長, 業務担当 | 有澤 良一 |
| 副支部長, 総務担当 | 中井 卓 |
| 副支部長, 総務担当, 事務局 | 竹内 勝信 |
| 事業担当幹事 | 辻野 篤 |
| 事業担当幹事 | 大塚 哲夫 |
| 事業担当幹事 | 田知 清英 |
| 業務担当幹事 | 大石 守仁 |
| 業務担当幹事 | 市森 友明 |
| 業務担当幹事 | 桜井 幹郎 |
| 業務担当幹事 | 小林 務 |
| 業務担当幹事 | 古村 崇 |
| 総務担当幹事 | 梶川 明美 |
| 総務担当幹事 | 広田 史子 |
| 会計幹事 | 穴田 昌 |
| 会計幹事 | 高田 正一郎 |

4. 第17回講演会

講演会は、設立総会後に行ったが、富山県技術士会からの回数を引き継いで、第17回とした。講演会では、次に示すようなテーマで、3名の講師の方々が講演を行った。

- ・「水田用調整池かんがいシステムの効用について」
朝日コンサルタンツ(株) 森田清三
 - ・「磁気機能性流体と精密加工への応用について」
富山高等専門学校教授 西田 均
 - ・「公共投資で経済成長」
評論家・前京都大学准教授 中野剛志
- 次に、これらの講演の内容を紹介する。

(1) 森田清三氏の講演

森田氏は、朝日コンサルタンツ(株)の常務取締役であると同時に、技術士として北陸本部の富山県代表幹事および富山県支部の支部長として活躍している。

森田氏の講演は、富山県奉職時代に計画・実施したファームポンド(水田用調整池)とパイプラインによる

かんがいシステムに関するものである。このシステムでは、次のような利点を持っている。

- ・位置エネルギーの有効利用
- ・水資源の有効利用
- ・自由度の高いかんがいが可能
- ・水温の上昇効果
- ・減歩率を高めずに調整池造成が可能

講演では、砺波平野などでの実例を多数交えて、計画から施工まで具体的な説明があり、システムの利点や注意点が良く理解できた。また、最近調査したパイプラインが、森田氏の時代に計画・実施されたものだと知り、驚くと同時にとても勉強になった。



第17回講演会の状況

(2) 西田均先生の講演

西田先生は、流体工学、計測・制御が専門で、富山高等専門学校で電気制御システム工学科において、「機能性流体とその応用に関する研究」などに精力的に取り組んでおられる。



講演中の西田先生

西田先生の講演は、機能性流体の一種である磁気機能性流体を利用して、複雑形状面や難削材管内面の精密研磨を行う研究の紹介であった。

講演では、聞き慣れない言葉に戸惑っていると、最初に機能性流体・磁気機能性流体など基本認識からの丁寧な説明から入った。また、ベルヌーイの式に目を白黒していると、分かり易い図面や写真を用いて具体的な説明があった。

その結果、西田先生の研究は、磁気流体(MF)と磁気粘性流体(MRF)を混合した磁気混合流体(MCF)を用いた研究で、平面はもとより段差のある平面、細管の内面などに対して、ナノメートルレベルの研磨が可能であることが分かった。また、非球面レンズ用金型の研磨も可能であり、メガネなどにも応用できることを学んだ。

(3) 中野剛史先生の講演

中野先生は、京都大学の藤井聡先生の研究室へ出向され、出向中に出版した「TPP亡国論」がベストセラーとなり、現在は評論家として、著書出版や講演活動を幅広く行っておられる。



講演中の中野先生

中野先生の講演は、著書である「TPP亡国論」などの内容を分かり易く説明したもので、藤井先生の「公共事業が日本を救う」などと相通ずるものである。

その内容は、現在日本が直面しているデフレが日本固有のもので、「失われた二十年」の原因であることを分かり易く説明された。また、デフレを脱却するには、財政危機を理由に先進国で唯一公共投資が減少している日本の現状を変える必要があり、インフラが老朽化している今こそ公共投資をすべきだと主張された。さらに、日本は、ギリシャなどと違って世界最大の貯蓄超過、外貨準備高があり、国債をどんどん発行してもデフォルトにならないことを強調された。

中野先生や藤井先生の話しを聞くと、公共事業が増えるはずであるが、現実には厳しい状況が続いており、なぜ増えないのかを考える良い機会であった。

5. 富山県支部の設立祝賀会

講演会終了後、隣に会場を移して、富山県支部の設立祝賀会を行った。祝賀会では、大谷北陸本部長による開会の挨拶の後、来賓である日本技術士会の清水副会長及び富山県土木部の林次長から、暖かい挨拶を賜った。そして、中山名誉北陸本部長の乾杯の発声の後、参加者一同で、富山県支部の設立を祝った。最後は、屋敷統括本部理事の中締の発声により、無事祝賀会を終了することができた。



来賓の清水副会長



来賓の林次長

6. 最後に

以上、富山県支部の設立行事を報告させて頂きましたが、富山県技術士会の解散総会、富山県支部の設立総会、講演会、祝賀会と盛り沢山の企画の中で、準備や調整をするため、大谷北陸本部長をはじめ佐藤北陸本部事務局長など、多くの皆さんからご協力を頂きました。ここに、改めてお礼を申し上げます。

また、貴重な講演をして頂きました講師の方々に、再度お礼を申し上げます。講演の資料などは、下記のHPに掲載していますので、興味のある方はご覧下さい。

なお、次回の第18回講演会は、平成24年11月3日(土・

祝)に富山地铁ホテルにおいて開催する予定ですので、お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。詳細は、下記HP等でお知らせしますので、宜しくお願いします。

富山県支部：<http://petoyama.web.fc2.com/>

(富山 竹内勝信)